

平成 29 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

町内会概要			
組織名	東山元気高齢者を作る会	代 表	会長 三瓶幹太 (さんぺい みきお)
地域 (市町村)	相双・いわき (川内村)	加入世帯数 (人数)	35 世帯 (40 名)
<p>(1) 自治会の主な活動 年間を通して週 1 回 (基本毎週土曜日 9:00~11:30) 集会所に集まり健康づくりや介護予防を目的とした運動 (輪投げ・カーリンコン) や茶話会、定期的に集会場周辺の清掃、花いっぱい運動 (花植え・水遣り・除草作業)</p> <p>(2) 自治会の特徴 川内村東部に位置し、村役場がある中心部から 5 km ほど離れた地域にある。震災後避難する世帯もあったが、現在では徐々に人口も戻ってきている。高齢者世帯や独居世帯が増加したものの、東山地区においては震災後に改めて「結束の強さ」が際立ち、非常に仲が良く、川内村の中でもモデル的な地域となっている。</p> <p>(3) 今年度実施事業 東山高齢者支援支え合いコミュニティ支援事業</p> <p>(4) 事業の主な活動内容 (具体的活動は上記の主な活動に同じ) ・会員の交流を目的とした週 1 回のレクレーション活動 ・会員としての役割=生きがいを目的とした美化活動</p> <p>(5) 本活動を実施することの背景 震災後、高齢世帯が増加し、それにより閉じこもりやうつ傾向の方が増えている。それらの方々が新進とともに健康に過ごしていけるよう、交流や活動の場をさらに広げたいという思いがあった。</p> <p><東山地区の将来に向けて> 会長の三瓶さんと副会長の久保田さんが中心となり、決して無理強いをしないように気を付けながらも地域の中で落ち込み気味の人には積極的に声を掛けるなどして、自分たちの地域が楽しい場所となるように活動されてきた。その活動が評価され、川内村の中でもモデル地域として据えられ他の地域への影響力も大きい。また、これからもずっとこの活動が続けられるよう後継者も育てていきたいと明るい表情で話されていたのが印象的であった。</p>			

活 動 内 容

① (右) 会長の三瓶乾太 (さんぺいみきお) さんと (左) 副会長兼会計の久保田ノブ子さんにお話を伺った。



③皆で集まり、笑い合いながら同じ時を過ごすことが、何よりの楽しみとなっている。



②美化活動の一環として、定期的に地区の清掃を会員全員で行っている。

